

# 第10号

# 市小公連だより



## 筑紫野市小地区公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市小公連事務局 ■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3  
 ■発行責任者 会長 森田 陽子 生涯学習センター内 ☎092-918-3535

会長あいさつ

会長 森田 陽子

平成28年度筑紫野市小地区公民館連絡協議会（小公連）の定期総会が、関係者多数のご出席により5月14日に開催されました。

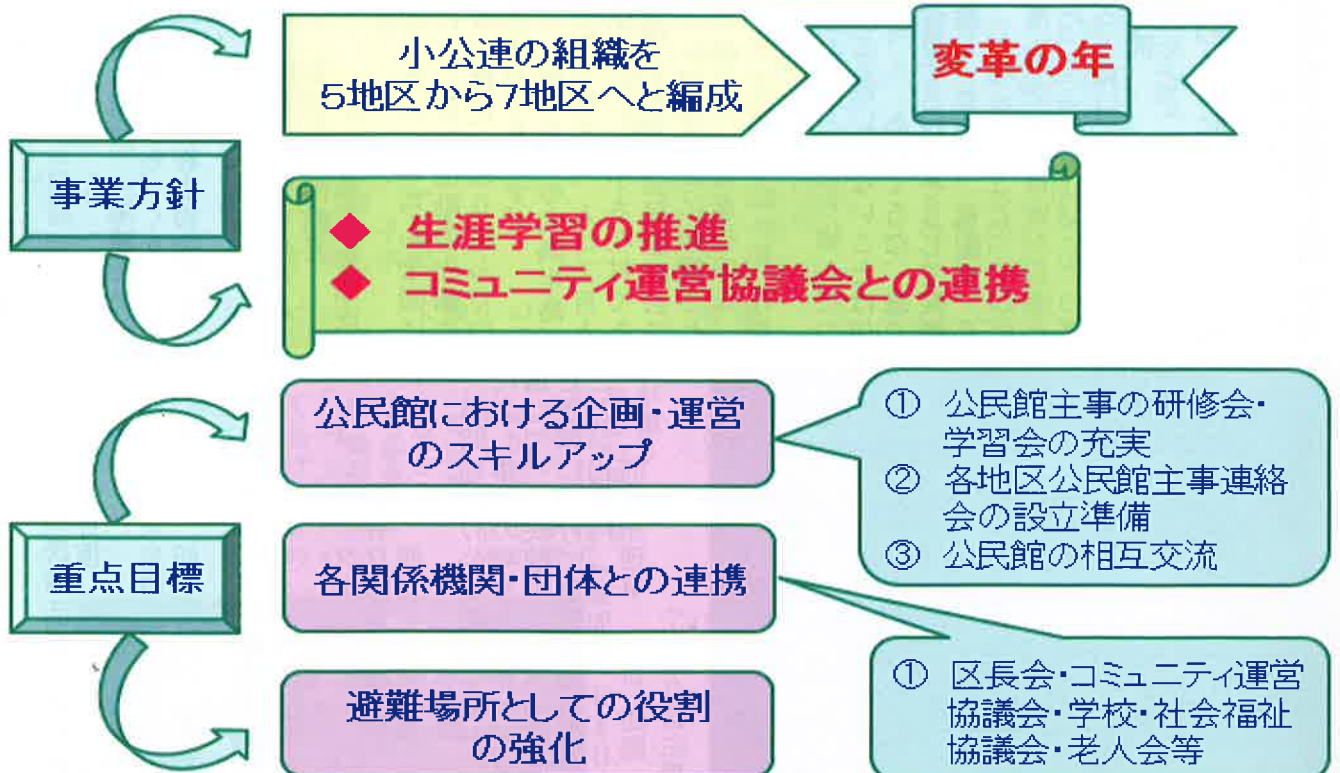
平成27年度は、推進大会をはじめ筑紫野市で開催された福岡地区公民館研修会・地区別視察研修会等大変有意義な研修を実施することができました。そして各公民館の特色ある活動や公民館の老朽化等も報告されました。又、近年にない大雪災害や熊本地震を考えますと切実に避難場所としての公民館の役割等の強化が望まれます。

平成28年度は、各コミセン・公民館は『変革の年』と位置づけ、公民館の役割・意義をしっかりと見据えた活動を目指します。又、筑紫野市地域コミュニティまちづくりの推進に伴い、小公連の組織を5地区から7地区へと編成し、生涯学習の推進とともに各コミュニティ運営協議会や各関係団体との連携を図りながら皆様と一緒に公民館活動の充実と住みよいまちづくりに努めます。

皆様のご理解とご協力を引き続きお願い申し上げます。



## 平成28年度市小公連事業方針・重点目標



### 筑紫野市小地区公民館連絡協議会 定期総会



5月14日(土)(さんあいホール)

■議案すべてが承認され、平成28年度の事業計画が決定致しました。



## 平成28年度市小地区公民館定期総会

### 平成28年度【主要事業計画】

- 4月5日(火) 会計監査
- 4月15日(金) 五役会
- 4月27日(水) 理事会
- 5月14日(土) 定期総会
- 6月4日(土) 筑紫地区公民館研修会
- 6月11日(土) 館長・主事等研修会
- 7月2日(土) 主事研修会
- 7月15日(金) 五役会
- 7月22日(金) 理事会
- 8月10日(水) 福岡県公民館大会
- 8月25日(木) 26日(金) 九州地区公民館研究大会
- 9月16日(金) 五役会・理事会
- 10月1日(土) 小公連推進大会
- 10月19日(水) 館長・主事等研修会 (人権研修会)
- 10月28日(金) 五役会
- 11月18日(金) 理事会
- 1月～2月 地区別視察研修会
- 2月10日(金) 福岡県公民館実践交流会
- 2月24日(金) 五役会
- 2月25日(土) 福岡地区公民館研修会
- 3月3日(金) 理事会

## 福岡地区公民館研修会

3月5日 生涯学習センターさんあいホールにて

■大会テーマ「活力あふれる感動のまちづくり」  
行政・地域・公民館の連携の挑戦

第一部 講演 「地域住民が主役 感動のまちづくり」  
くやねだん(柳谷自治公民館)の挑戦

講師 柳谷(通称やねだん) 自治公民館館長

豊重 哲郎氏

現在九州はもろろん全国に先駆けて公民館活動の先頭に立って活性化に取り組んでいる公民館があります。

ここは鹿児島県の大隅半島、鹿屋市柳谷集落は、人口三百人高齢化率40%の小さな村である。平成8年3月公民館総会において公民館館長に抜擢された本日紹介する豊重哲郎氏。(これまでの慣習は一年任期の輪番制)

就任してまず取り組んだのは「やっつてはいけないことは何か」を考え、あわてるな、急ぐな、近道するな、そうして笑顔で話し、目配り、気配り、心配り、この冷えかけた「やねだん集落」の空気を根底から温め直した。ここに「やねだん」の礎があると確信しました。

### 第二部

インタビュアーダイアログ 「まちづくりにつながる公民館活動」

コーディネーター 福岡教育事務所 今崎 宏氏

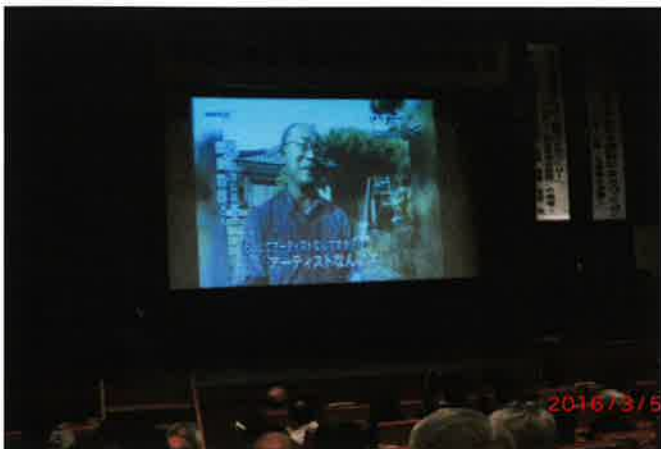
発表者① 粕屋町上大隈公民館 前館長 中村 俊二氏

発表者② 糸島市立加布里公民館 館長 中村 良隆氏

発表者③ 子どもの健全育成と校 区づくり

コメンテーター 柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎氏

福岡地区の公民館関係者が一堂に会し事例の発表や意見の交換を通じて、公民館の在り方や直面する課題に向けて研究協議を深めることが出来た。【参加者310名】  
前常任理事 山口 四郎 (山家2区主事)





# 平成28年度市小地区公民館館長・主事等研修会

平成28年6月11日(土)生涯学習センター視聴覚室にて館長・主事研修が行われた。

研修会の主旨は、本年度初めて小地区公民館の館長・主事等になった方々を主対象に、公民館の果たす役割や館長・主事等の役割、特に実践的な公民館活動についての研修を行い、公民館活動の一層の充実を図るというものである。

講師の方々は、以下の通り。

① 筑紫野市教育委員会生涯学習課

社会教育主事 宮垣 郁子

② 元天拝坂公民館長 北田 忠

③ 美しが丘南公民館主事 森 政之

■テーマ「館長・主事の役割実践的な活動内容等」

主事として改めて『館長・主事の基本的な役割』についての研修に参加して、『主事の役割は事業の企画および会議の連絡調整等』とあるが、この1年間は目先の行事・催事を実行するだけで、新規事業企画までの余裕はなかったように思う。

天拝坂公民館は、『毎日開ける事・使いやすい事・公民館に来てもらう口実を用意する等』と、色々な工夫企画がなされている事(土足OK・コーヒードで接待等)又、美しが丘南公民館は、様々なサークル活動から公民館を学習室に開放されるなど独自のやり方と館長・主事の連携で、様々な企画を実行されていることがよくわかりました。今後、小生の属する公民館でも、参考にしていきたいことが多々ありました。この1年は、1つでも2つでも企画を実行したいと思います。

若葉中原公民館主事 中村良三



## 筑紫地区公民館研修会

「地域の活性化と公民館」

■公民館の役割などについて

今村隆信氏(文部科学省初等中等教育局CSマスター)が講演された。講師 今村氏は、生涯学習社会の中で、学習したい内容や方法を選択して学習のできる条件が整い、学習の成果が適切に評価される社会の建立が必要であるとし、

- 一、学歴社会の弊害の是正
  - 二、急激な社会変化への対応
  - 三、余暇時間の増大への対応等
- 「学び直し」続ける社会への変革を力説された。

■公民館の取り組みで意識してほしいこと。

### 公民館長・主事の役割

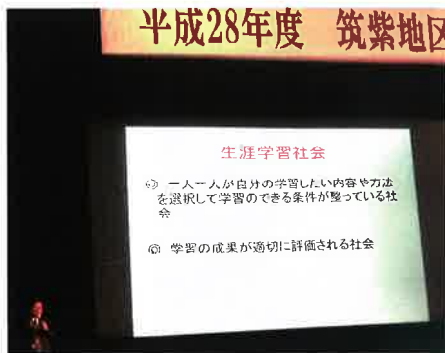
- ① 体制・組織づくり
  - ② 情報の発信
  - ③ 人材づくり
  - ④ 地域でのネットワークづくり
  - ⑤ 学校との連携・協働
  - ⑥ 地域で子供を育てる土壌づくり
- たとえば、公民館はアイデアを出し、区域の方に動いてもらう。子供新聞もおもしろい。地域には何か出来る人はいないかな? 今度は、漬物を漬けてくれる人に漬け方講習していただくこう等、アイデア次第で何かが発掘出来るのではと提案され、講演を聞かれた公民館関係者の方から高い関心が寄せられた。

### ■地域で子供を鍛えよう

- ① 自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力
- ② 正義感や倫理観等の豊かな人間性(社会性)

プラム・カルコア太宰府にて開催された。6月4日(土)

## 平成28年度 筑紫地区



③ 健康や体力  
なぜ、生きる力がなくなったのか?  
家庭では、過保護と過干渉。地域では、過保護と見て見ぬふり。学校では、学校教育への過度の依存、学校爆発論

### 子供が集う自治公民館?

公民館は、大人のもの? 子供向け事業の実施。子供宿題サポートセンター。生活体験学習の実施等々  
「子らに光から、子らを光に」  
講師は、最後にボランティアは、人のためにならなくてあげてののではなく、自己実現の為に活動をしていることを認識しなさいと諭されました。

常松公民館長

三宅 俊明



# 本町公民館

公民館は、西鉄二日市周辺 780 世帯、約 1,500 名の住民が活動の中心として利用場所となっている。

■主な活動：七夕夏祭り・花いっぱい運動(6, 11月)餅つき大会・ふれあい交流会・河川清掃(毎月1回)サロン(月2回)他、行政区活動として、社会見学防災研修・敬老会・市民体育祭・年末防犯防災巡回資源ごみ回収等々……

特に、河川清掃は、平成4年から市営河川鷺田川(本町郵便局下)から県営河川鷺田川の太宰府市境までの約 800 ㎡を役員及び協力者で毎月1回実施しています。

この活動を住民の皆さんにお知らせするために毎月、市広報1日号に併せて発行(第1号平成7年6月～現在251号 広報委員3名)

今後も、高齢者と子ども達との交流及び区民の親睦を深める場として活動を継続していきます。

本町公民館長 椎葉 真弓



第200号



第1号



針摺区は、筑紫野市のほぼ中央に位置し、西鉄朝倉街道駅、JR天拝山駅を擁する交通の要衝にある。  
平成17年4月、世帯数増加に伴い針摺東区と分区したが、現在は、約1500世帯、人口3500名で福岡市のベッドタウンとして位置づけられる。  
針摺の地名は、筑前國續風土記に「菅公天判山にて、罪なきよしを天に訴へたまひし後、此所を通りたまひしに、老翁聞いて針にする持つるよしを答へける。云々」とあり、それが由来と伝わっている。



# 針摺公民館

針摺公民館は、平成7年に新築したもので、別途、分館も近隣に置いている。  
公民館の運営は、区民の交流の場を提供し、相互の信頼と強調・親睦に寄与することを目的として、公民館まつりを始めとした6大行事を実施している。  
針摺公民館長 阿部 一博



## 編集後記



■天山の名前の由来  
地名・天山は、住古は「雨山」といいたるが如し藻鹽草(もしおくさ)中世の随筆集に雨山を筑前とす。古歌あり。  
「雨山のあたりの雲はうちつけにぞ見え くもりてのみそ見えわたりける」  
天山村【今の村組、天山本村である】の上に天山という山あり。

【日田街道筋は、天山枝村 鞭掛です】

天山公民館主事

田中 憲二

